

光市記者発表資料

令和5年3月28日

件名	施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会の 報告書の提出について		
内容	<p>施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会から、下記のとおり報告書が教育長に提出されましたので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1 件名 施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」について（報告書）2 提出者 施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会（宮尾智義委員長）3 提出日 令和5年3月24日4 内容 別冊のとおり5 備考 施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会（委員69名）は、施設一体型小中一貫やまと学園の新設に関して協議し、協議の結果を教育長に報告する役割を担います。		
問合せ	担当課	教育委員会教育総務課	
	担当者	教育総務課長	吉永 晋太郎
		管理係長	清水 剛
		電話	0833-74-3601

施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」について（報告書）

令和5年3月

施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会

- 目次 -

1	施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」について	・・・ P 1
2	「理想のやまと学園」についての協議	・・・ P 2
3	「やまと学園の学び舎の姿」についての協議	・・・ P 2
(1)	学び	・・・ P 3
柱1	小・中学生と地域の人々がつどい学び合う空間	
柱2	個（子）に応じて学びを深める空間	
柱3	学びの成果を発信できる空間	
(2)	生活	・・・ P 4
柱1	ぬくもりのある学び舎	
柱2	開放感のある快適な学び舎	
柱3	一堂に会せる学び舎	
柱4	自然にやさしい学び舎	
(3)	共創	・・・ P 5
柱1	伝統文化を学び伝える拠点としての学校	
柱2	地域交流を通じたふれあいの場としての学校	
柱3	小中互いに学び合える成長の場としての学校	
4	まとめ	・・・ P 6
5	協議経過	・・・ P 6
	施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」の概要	・・・ P 7
	補足資料	・・・ P 8
(1)	第1回ワークショップ・子どもワークショップのまとめ	・・・ P 8
(2)	第4回ワークショップのまとめ	・・・ P 13

1 施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」について

■光市では、「連携と協働で育む 光の教育」を教育理念に掲げ、学校・家庭・地域が一体となって進めるコミュニティ・スクールの取組と小中一貫教育を要とした幼保、小・中、高等学校の連携を同時展開する中で、社会総掛かりで「夢と希望にあふれ 未来へ輝く『光っ子』の育成」に取り組んでいる。

■また、「施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針（令和4年3月）」では、光市が目指す学校として、「連携・協働を基盤とした学校」「子どもたちの『学び』を第一義においた学校」の2つの視点が示され、連携と協働を基盤とした指導体制を確立することや、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進を図ることが改めて強調された。

■こうした中、やまと学園では、「確かな学びと豊かな人間関係を互いに培い、未来を担う力を備えた子どもの育成」を独自の教育目標として掲げるとともに、「自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども」「感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども」「夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども」を具体的な子ども像とした、15歳の大和っ子像「大和を愛し、未来にはばたく大和っ子」を、4小1中の教職員と保護者、地域住民で共有し、大和地域総掛かりで、子どもたちの豊かな「学び」と「育ち」を支援している。

■準備委員会では、施設一体型小中一貫やまと学園の新設に向け、施設整備も念頭におきながら、幅広い角度から「目指す学園像」について意見を交わし合った。

（施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」の概要 参照）

1 光市の教育理念・教育目標（第2次光市教育大綱・第2次光市教育振興基本計画）

（1）教育理念

連携と協働で育む 光の教育

（2）教育目標

夢と希望にあふれ 未来へ輝く『光っ子』の育成

2 光市が目指す学校（施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針）

（1）連携・協働を基盤とした学校

（2）子どもたちの「学び」を第一義においた学校

3 やまと学園の教育目標・15歳の大和っ子像

（1）教育目標

確かな学びと、豊かな人間関係を互いに培い、
未来を担う力を備えた子どもの育成

（2）15歳の大和っ子像

大和を愛し、未来にはばたく大和っ子

- ・自分が好き、人が好き、大和が大好きな子ども
- ・感謝の気持ちを持ち、さわやかなあいさつができる子ども
- ・夢や希望を持ち、努力を惜しまない子ども

2 「理想のやまと学園」についての協議

第1回ワークショップでは、まず、やまと学園の教育目標や15歳の大和っ子像、これまでの取組などの説明を受け、施設一体型小中一貫やまと学園としての在りたい姿を考えた。子どもたちの「学び」と「育ち」を中心に、大和地域で子どもたちが学ぶ環境や育つ姿、小中学校のつながり、子どもたちと地域住民のつながりなど、幅広い視点から多様な意見が出され、これらの意見をもとに、「理想のやまと学園」のキャッチフレーズを出し合った。新たな学園に対する期待や希望を感じさせるものが多く描かれ、参加者全員でそれぞれの思いを共有し合った。

■こうなったらいいな、理想のやまと学園（共感シールの多かったもの）

・子どもは通いたい!! 保護者は通わせたい!! 地域は集めたい!!

教師は学び・教えたい!! ワクワクする学園

・子どもたち、教職員、地域の人が互いの存在を尊重し、希望をもって、
しっかり学べる学園

3 「やまと学園の学び舎の姿」についての協議

「やまと学園の学び舎の姿」についての協議に先立ち、子どもワークショップでは、やまと学園の小学6年生（塩田小学校・三輪小学校・岩田小学校・東荷小学校）と中学2年生（大和中学校）が一緒のグループで「未来のやまと学園はこんなところ！」を考え、グループごとに挙げた意見を共有した。

その後開催した第4回ワークショップでは、中学生（大和中学校）から子どもワークショップの報告として、「小中学生で仲良く遊べる」「体験学習が充実する」「スクールバスで通学できる」などのグループ協議で出された意見と併せて、「大和地域で中学生が地域の方と実施している清掃ボランティア活動がこれからも継続し、小学生にも参加してほしい」や、「不登校がなく全校児童生徒が通える学校になったらいい」などの思いが発表された。

また、第1回ワークショップや子どもワークショップで挙げた意見を参考にしながら、「やまと学園の新たな学び舎の姿」について、大切にしたい視点や機能などを中心に意見を出し合った。

協議にあたっては、令和4年3月に示された「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）を参考に、新しい時代の学び舎として目指していく「学び」「生活」「共創」「安全」「環境」の各領域の姿のうち、「学び」「生活」「共創」の3つに焦点を当てた。

第3回学校運営部会では、これまでのワークショップの報告をもとに、「学び」「生活」「共創」の3つの領域でさらに協議を深め、令和5年度に策定予定の施設整備基本計画の策定に向けて、学園の施設を考える上での「柱」と「具体例」を整理して以下のとおりとりまとめた。

※第1回ワークショップ・子どもワークショップ・第4回ワークショップのまとめ
ー補足資料

(1) 学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する。

柱1 小・中学生と地域の人々がつどい学び合う空間

小・中学生と地域の人々が、ただ集まるだけでなく、学び合える空間が必要である。そのためには、多目的な機能や、いろいろな学習パターンに対応できる学習空間が求められる。

■具体例

- ・共同スペース・個別学習スペース
- ・多目的に利用できるスペース
- ・共学びの充実（空間）
- ・個性・能力を認め合う学習空間
- ・多様性（子どもの学び・大人の学び）
- ・小中合同の行事や総合的な学習
- ・自宅からでも授業に参加できる環境
- ・放課後教室（地域の人と）
- ・浅いプール・深いプール
- ・広い体育館
- ・地域との連携で部活を増
- ・少人数で成立する部活を増やす
- ・中学生の出前授業
- ・自由と責任・自治能力
- ・学校らしさー社会とのつながり
- ・英語教育の強化（小学生から）
- ・小中のどちらの体格にも対応できる施設

柱2 個（子）に応じて学びを深める空間

一人ひとりの「個」に応じて、「子」の学びを深めていくことのできる空間が必要である。例えば、子どもの特性に応じて学ぶことができる空間や、ICTを活用した個別学習ができる空間を整備する。

■具体例

- ・保健室教室（自習室）
- ・不登校・教室に入れない子どもの居場所
- ・教科型教室
- ・特別支援学級の充実
- ・他学年の様子分かる教室配置
- ・どこでも学べる
- ・勉強の得意・不得意に合ったクラス替え（不登校防止）
- ・将来の夢について学べる授業
- ・リモート交流やTV会議がすぐできる
- ・オンラインはどこでも使用可能
- ・PC・インターネットが学べる場
- ・オンライン理科室
- ・英語教育の強化（小学生から） ※再掲

柱3 学びの成果を発信できる空間

個で追究した学びや、小中や地域の方々と学び合い、そこで深めた学びを発信して学びの成果を広げていくとともに、そのフィードバックとしていろいろな声を聴いて学びをより深めることにより、学びの循環を生み出していくことのできる空間を創造する。

■具体例

- ・音楽ホール・スタジオ
- ・階段状の座席のあるホール
- ・自由に使える教室
- ・会話ができる図書室
- ・オンラインはどこでも使用可能
- ※再掲
- ・PC・インターネットが学べる場
- ※再掲
- ・リモート交流やTV会議がすぐできる
- ※再掲
- ・オンライン理科室
- ※再掲

(2) 生活

新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現する。

柱1 めくもりのある学び舎

木のぬくもりや和室の落ち着きなど、物質的なぬくもりから心のぬくもりにつなげることができる空間を工夫する。

■具体例

- ・木材の活用（木のぬくもり＝心のぬくもり・安心）
- ・和室をつくって
- ・不登校の子どもの居場所
- ・不登校の子どもの相談体制の充実
- ・できるだけみんなが来られる学校

柱2 開放感のある快適な学び舎

採光による明るさや風通しが良いことで快適さが確保され、開放感を得られる空間を工夫する。

■具体例

- ・開放感 明るさ・風通し＝快適
- ・手洗い場 きれい
- ・教室横の広いスペースを・廊下を広く
- ・きれいなトイレ（ウォシュレット付き）
- ・物が少ない職員室（収納スペース）
- ・採光＝窓
- ・柔軟に対応できる空間
- ・オープンスペース
- ・教室をオープンに（小さな部屋で区切るのではなく）

柱3 一堂に会せる学び舎

全ての児童・生徒に加えて、地域の方もみんなが集える、例えばランチルームのような広い場所を整備する。

■具体例

- ・小1～中3と地域の方も集うスペース＝ランチルーム
- ・地域の方と一緒にランチ
- ・イスのいらないフリースペース
- ・明るい（日光）ランチルーム・ウッドデッキ
- ・お弁当 DAY を利用して小・中混合ランチ
- ・一堂に会せる空間（休憩場所）
- ・おしゃべりしながら食事がとれる
- ・表現・発表スペース

柱4 自然にやさしい学び舎

自給自足をキーワードに、太陽光発電によるエネルギーや給食の食べ残しから作るたい肥などを活用し、環境学習ができるような機能を充実させる。

■具体例

- ・環境教育・農業体験
- ・環境設備の導入
- ・太陽光発電
- ・自給自足（エネルギー・食物）
- ・菊づくり・いちごづくりの体験の場
- ・たい肥づくり

(3) 共創

地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現する。

柱1 伝統文化を学び伝える拠点としての学校

各地域で育まれてきた伝統文化が、次世代に受け継がれていくよう、伝統文化を学び伝える拠点としていくための空間を構築する。

■具体例

- ・卒業生が自慢できる伝統行事等を地域の人と
- ・伝統芸能を含め、発表できるスペース
- ・伝統文化継承グッズ保管庫が必要
- ・伝統文化を部活化する（小中合同）
- ・伝統文化継承センター併設
- ・地域の歴史が学べる学習

柱2 地域交流を通じたふれあいの場としての学校

地域の方から子どもたちが学び、子どもたちから地域の方が学ぶような、地域交流を通じたふれあいの場としての空間を創造する。

■具体例

- ・地域の人を巻き込んだクラブ活動（絵・手芸・書など、少人数でも）
- ・地域の方が集まれる広場・フリースペース
- ・図書館＋給食スペース 地域の方も利用可能
- ・多目的ホール（地域の方との交流の場）
- ・おばあさんの知恵が学べる学習
- ・昔遊び
- ・給食を自由に一緒に食べる
- ・光市全体のイベント（お祭り等）を学校で開催
- ・コミュニティバス停留所

柱3 小中互いに学び合える成長の場としての学校

小学生が中学生から学び、また、中学生が小学生の存在により自覚を高めるといった好循環の中で、ともに刺激し合いながら成長できる空間を工夫する。

■具体例

- ・みんなで遊べる屋外ステージ
- ・全ての行事を学園で行える
- ・部活・クラブチーム・習い事…全部できる
- ・人・本・体験（たくさんの情報）

4 まとめ

■「理想のやまと学園」についての協議では、子どもたちの「学び」と「育ち」を中心に、大和地域で子どもたちが学ぶ環境や育つ姿、小中学校のつながり、子どもたちと地域住民のつながりなど、幅広い視点から多様な意見が出され、新たな学園に対する期待や希望を感じさせる学園像が多く描かれた。

■「やまと学園の学び舎の姿」についての協議では、今後、整備される新たな学び舎を「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）を参考に検討した。

■学び舎として目指していく姿の「幹」となる「学び」については、「小中学生と地域の人々がつどい学び合う空間」「個（子）に応じて学びを深める空間」「学びの成果を発信できる空間」の3つが施設整備の柱として挙げられた。新たな学び舎においては、これら1つ1つの機能の充実が図られるとともに、3つの柱が相互に作用しながら児童生徒の豊かな学びにつながっていく教育環境を目指すことが重要である。

■「学び」を豊かにしていく「枝」となる「生活」については、ワークショップの中学生の発表にもあった「不登校のない学校」や、卒業後も自分たちの学校を誇りに思える「オンリーワンの学校」を目指し、「ぬくもりのある学び舎」「開放感のある学び舎」「一堂に会せる学び舎」「自然にやさしい学び舎」の4つが施設整備の柱として挙げられた。

■「学び」を豊かにしていくもう1つの「枝」となる「共創」については、「伝統文化を学び伝える拠点としての学校」「地域交流を通じたふれあいの場としての学校」「小中互いに学び合える成長の場としての学校」の3つが挙げられた。新たな学び舎においては、こうした活動が実現できる空間の工夫とともに、地域住民が学校へ行き来するための交通手段についての検討も必要である。

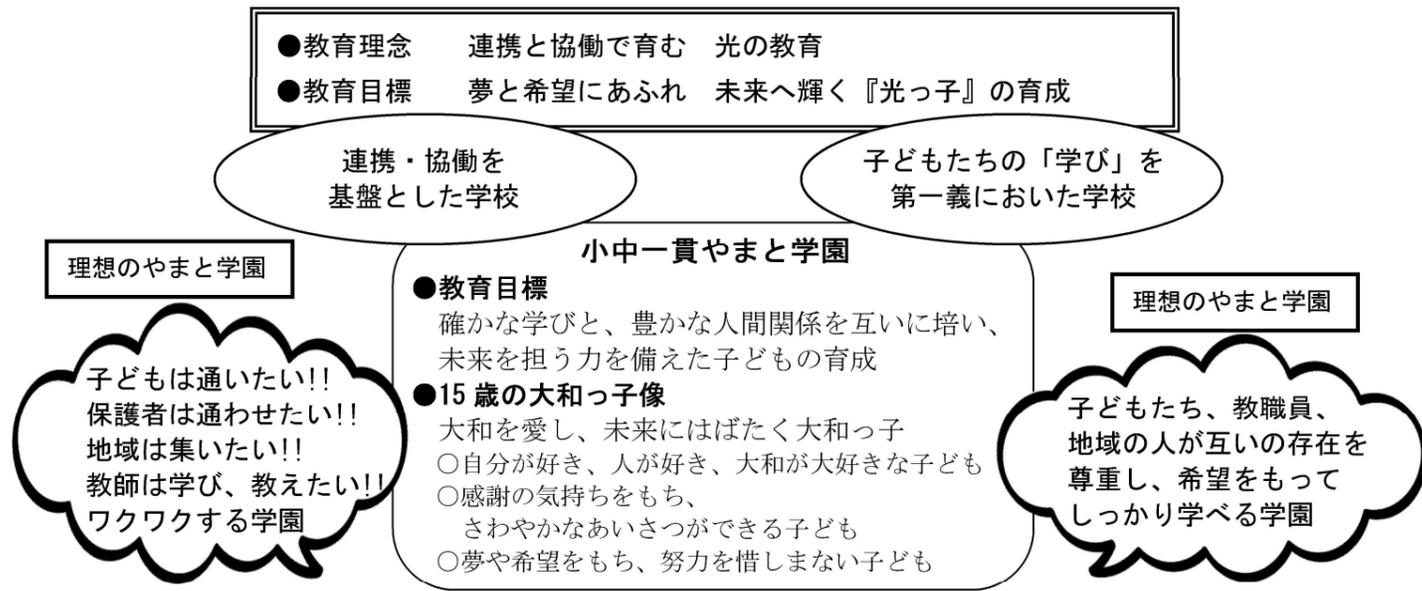
■「目指す学園像」についての協議は、学校を中心に地域の未来をどうつくっていくかを語る時間でもあった。地域の未来を担うのは子どもたちである。子どもたちの学びを第一に考えることは、地域の幸せを考えることでもある。

■本準備委員会で協議し、とりまとめた「目指す学園像」については、令和5年度に予定されている施設一体型小中一貫やまと学園施設整備基本計画の策定における考え方の基本としていただくとともに、ワークショップ等が出された様々な意見やアイデアも含めて、今後開催される各部会の協議に活かしていただきたい。

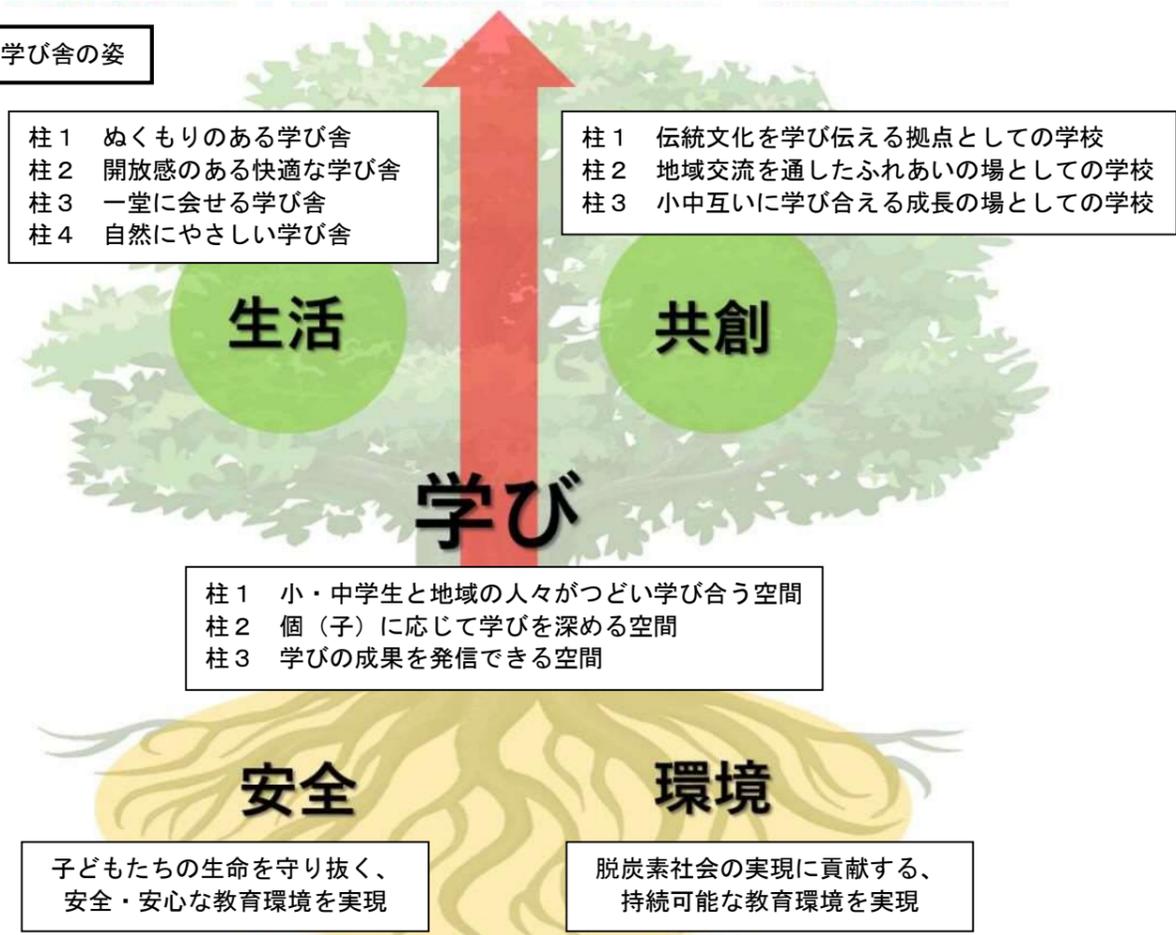
5 協議経過

- | | | |
|-----|------------|------------|
| (1) | 令和4年11月30日 | 第1回ワークショップ |
| (2) | 令和5年1月31日 | 子どもワークショップ |
| (3) | 令和5年3月4日 | 第4回ワークショップ |
| (4) | 令和5年3月14日 | 第3回学校運営部会 |
| (5) | 令和5年3月22日 | 第4回執行委員会 |

施設一体型小中一貫やまと学園「目指す学園像」の概要



やまと学園の学び舎の姿



学び

柱1 小・中学生と地域の人々がつどい学び合う空間

【具体例】 共同スペース・個別学習スペース、多目的に利用できるスペース、放課後教室（地域の人と）、小中のどちらの体格にも対応できる施設 など

柱2 個（子）に応じて学びを深める空間

【具体例】 不登校・教室に入れない子どもの居場所、他学年の様子が見える教室配置、教科型教室、どこでも学べる、オンラインはどこでも使用可能 など

柱3 学びの成果を発信できる空間

【具体例】 音楽ホール・スタジオ、階段状の座席のあるホール、自由に使える教室、会話ができる図書室、リモート交流やTV会議がすぐにできる など

生活

柱1 ぬくもりのある学び舎

【具体例】 木材の活用（木のぬくもり＝心のぬくもり・安心）、和室をつくる、不登校の子どもの居場所、できるだけみんなが来られる学校 など

柱2 開放感のある快適な学び舎

【具体例】 きれいな手洗い場・トイレ、教室横の広いスペース、物が少ない職員室、柔軟に対応できる空間、オープンスペース など

柱3 一堂に会せる学び舎

【具体例】 小1～中3と地域の方も集うスペース＝ランチルーム、表現・発表スペース、イスのいらないフリースペース、一堂に会せる空間（休憩場所） など

柱4 自然にやさしい学び舎

【具体例】 環境教育・農業体験、環境設備の導入、菊づくり・いちごづくりの体験の場、自給自足（エネルギー・食物）、太陽光発電、たい肥づくり など

共創

柱1 伝統文化を学び伝える拠点としての学校

【具体例】 伝統芸能を発表できるスペース、伝統文化継承グッズ保管庫、伝統文化を部活化する（小中合同）、地域の歴史が学べる学習 など

柱2 地域交流を通じたふれあいの場としての学校

【具体例】 地域の人を巻き込んだクラブ活動、地域の方が集まれる広場・フリースペース、多目的ホール（地域の方との交流の場）、コミュニティバス停留所 など

柱3 小中互いに学び合える成長の場としての学校

【具体例】 みんなで遊べる屋外ステージ、全ての行事を学園で行える、人・本・体験（たくさんの情報） など

補足資料

(1) 第1回ワークショップ・子どもワークショップのまとめ

目指す学園像	
第1回	チャンスを与える学校
	学校に活気がある
	(イメージとしては) 大和町民立学校
	自分や友達を大切にする子どもに！！
	新と旧(昔)の融合
	小中それぞれの独立性もいる
	あいさつがいっぱい 明るい
	毎日、学校に行きたいと思える
	いろいろな年齢の考え方を知ることができる
	失敗が温かく許容される学校
子ども	授業が楽しい学校
	笑顔があふれている学校
	不登校が起こらない学校
	笑顔があふれる学校
	いじめがない学校
	ボランティアの手伝いをたくさんする学校
	上下関係がはっきりしている学校
	動物にやさしい学校
	おじいちゃん、おばあちゃんにあいさつをする学校
	学校の伝統が受け継がれている学校
最高の勉強空間	

小中一貫	
第1回	中学生が小学生に教える時間づくり
	小学生と中学生の合同授業
	中3が小学1・2年のお世話に
子ども	小学校と中学校の交流あり！！(たくさん)
	小中学生で仲良く遊べる
	休み時間に小学生と交流できる！
	中学生が小学生に勉強を教える
	体育は小中合同

学習活動	
第1回	塾の併設（英語・ピアノなど）
	運動をしたくなるような魅力的な遊具・器具がある学校
	つめ込み教育ではなく、主体的に学べる！！
	放課後の有効化
	英語づけ
	上の子が下の子の学びを支える学校
	作物を育てられる
子ども	クラスは自分たちで決める
	すきなことが学べる時間
	勉強が教え合える
	一年に何回か全校遊び
	授業がおもしろい学校
	野外学習を増やす
	水泳を増やす
	授業を選べる

通学・交通	
第1回	コミュニティバス
	公共機関が集約できる位置
	スクールバスをもって通学・校外学習に自由にいける
	地域の見守りの充実
子ども	登校は車でも
	学校から習い事に行ける
	スクールバスがある
	みんな徒歩
	行き方が自由な学校

自然	
第1回	自然とふれ合えるスペース
子ども	緑に囲まれた自然がある学園
	自然を生かした活動ができる学校

施設・設備	
第1回	小1～中3までが集まれる場所
	温水プール
	可動式のいろいろ
	広い空間でゆったり学べる
	男女制服同じにする
	小中一緒のランチスペース
	明るく立派な図書館
	和の体験のできるスペース（和室など）
子ども	グラウンドが天然しば
	プール、グラウンド、体育館、武道場が大きくなる
	寝る部屋がほしい
	床はカーペット
	いろんなところで本が読める
	個人で集中して勉強できる部屋がある
	机とこたつが冬はいっしょ
	エレベーターがある学校
	本がたくさんある学校
	エスカレーターがある
	どこでもドアがある
	上靴をはかなくていい
	サッカーゴールがある
	テニスコートがある
	体育館2つ
	理科室が最新
	グラウンドが広く、遊具がたくさんある学校
	廊下があったかい学校
	部屋のドアが自動ドア
	階段の横にスロープがほしい
	学校にコンビニあり
	買い物ができる学校
自動で掃除してくれる	

地域・交流	
第1回	気軽に立ち寄れる
	交流サロン
	販売所がある
	地域住民が自由に過ごせる空間がある
	束荷神舞・石城太鼓を大和全体に
	シェアキャンパスのような、色んな世代の人でもそれぞれの学びができるといい
	幼保との交流
子ども	地域とのかかわりが多い学校
	地域の人との交流がいっぱいある学校
	おじいちゃん、おばあちゃんといっしょにいる

部活動	
第1回	部活が増える
	部活（でなくても）サークルでも興味ある活動ができる
子ども	小学から部活
	部活の種類がいっぱいある
	好きな部活を作ることができる学校
	部活の朝練ができる

給食	
第1回	好きな場所で給食が食べられる
子ども	ひろい食堂でみんなでお昼！
	自分で料理できる
	食堂がある学校
	給食が豪華な学校
	給食が三ツ星シェフ
	給食を自分たちでつくる
	給食が選べる学校
	給食がバイキング

I C T	
子ども	黒板がなくて、テレビで授業
	体育がVRになる
	教科書がなくなり、すべてiPadなどで行うようになる
	ノートがパソコン
	先生がAI
	通信制の学校
	家でも授業を受けることができる
	黒板がスクリーンになる

時間	
子ども	チャイムがない
	昼休み時間が1時間ほど
	登校時間を遅くする
	秋休み
	遊ぶ時間がたくさんある
	来る時間いつでもいい

自由・遊び	
子ども	カラオケが出来る
	学校のとなりにゲームセンター
	1階にマクドナルド
	生き物を飼う
	動物がいる学校
	スマホOK
	宿題が少ない学校
	うさぎ、ハムスター、いろいろな動物がいる学校
	私服OK
	ショッピングセンターがとりにある
	キャンプができる
	おしゃれができる
	サッカーやりほうだい
	虫がたくさんいる学校
	水泳の授業がない
秘密基地がほしい	

(2) 第4回ワークショップのまとめ

	大ふせん・グループ	小ふせん
学び	学びのスペース	共同スペース・個別学習スペース
		多目的に利用できるスペース
		共学びの充実（空間）
		個性・能力を認め合う学習空間
	多様な学びの場	多様性（子どもの学び・大人の学び）
		保健室教室（自習室）
		不登校・教室に入れない子どもの居場所
		自宅からでも授業に参加できる環境
	小中で充実させる学び	英語教育の強化（小学生から）
		小中合同の行事や総合的な学習
	オンライン学習が簡単	オンラインはどこでも使用可能
		PC・インターネットが学べる場
		リモート交流やTV会議がすぐにできる
	普通教室	教科型教室
		特別支援学級の充実
		他学年の様子が分かる教室配置
	特別教室等	オンライン理科室
		音楽ホール・スタジオ
		会話ができる図書室
		階段状の座席のあるホール
		自由に使える教室
	体育施設	浅いプール・深いプール
		広い体育館
	部活	地域との連携で部活を増
		少人数で成立する部活を増やす
	その他	どこでも学べる
		将来の夢について学べる授業
勉強の得意・不得意に合ったクラス替え（不登校防止）		
放課後教室（地域の人と）		
中学生の出前授業		
文化DAYや体育DAYをつくる		
学校らしさ－社会とのつながり		
自由と責任・自治能力		
小中のどちらの体格にも対応できる施設		
建築家 隈研吾さんをお願いします		

	大ふせん・グループ	小ふせん
生活	快適	手洗い場 きれい
		教室横の広いスペースを・廊下を広く
		きれいなトイレ（ウォシュレット付き）
		物が少ない職員室（収納スペース）
	集う	イスのいないフリースペース
		一堂に会せる空間（休憩場所）がある
		おしゃべりしながら食事がとれる
		明るい（日光）ランチルーム・ウッドデッキ
		お弁当DAYを利用して小・中混合ランチ
		表現・発表スペース
	自給自足	環境設備の導入
		太陽光発電
		自給自足(エネルギー・食物)
		菊づくり・いちごづくりの体験の場
	世界の文化・日本の文化・大和の文化	和室をつくって
		木材の活用
	安心安全	非常階段の設置
		専門の警備員の配置
	施設	トイレは洋式中心で（自動手洗いに）、和式も
		1階は小学、2階に特別教室、3階に中学
		職員室は、教室全体を見通せるところに
		小中学生が安全で楽しく遊べる運動場
		職員室・校長室をオープンに
		教室をオープンに（小さな部屋で区切るのではなく）
		柔軟に対応できる空間
	その他	児童会・生徒会 組織
		小学生はみんなスクールバス
		できるだけ名前を呼んであいさつをする
できるだけみんなが来られる学校		
不登校の子どもの相談体制の充実		
1学年2教室		
1教室の人数を少なくする		

	大ふせん・グループ	小ふせん
共創	交流	多目的ホール（地域の方との交流の場）
		地域の方が集まれる広場・フリースペース
		図書館＋給食スペース 地域の方も利用可能
		給食を自由に一緒に食べる
		図書館の隣に話し合いのできる空間
		専任の司書さんを配置してほしい
		人・本・体験（たくさんの情報）
		みんなで遊べる屋外ステージ
		バリアフリー（UD）を踏まえて施設
		広い駐車場
		コミュニティバス停留所
	伝統	卒業生が自慢できる伝統行事等を地域の人と
		伝統文化継承グッズ保管庫が必要
		伝統芸能を含め、発表できるスペース
		伝統文化を部活化する（小中合同）
		伝統文化継承センター併設
	地域と学ぶ・地域を学ぶ	自分の地域について考える授業
		地域の歴史が学べる学習
		おばあさんの知恵が学べる学習
	市民活動との一体化	市民活動ができる場（裁縫など）
		地域の人を巻き込んだクラブ活動（絵・手芸・書など、少人数でも）
		お年寄りのサロンを校内に
	地域の「活動拠点」	光市全体のイベント（お祭り等）を学校で開催
		全ての行事を学園で行える
		全てに利用できる交通機関
		部活・クラブチーム・習い事…全部できる
		幼稚園の併設
行政機関の併設		
一般者利用可の保健室		